先端の創薬を通じて
人々の健康と
明日の医療に貢献する



あすか製薬株式会社
マスコットキャラクター
あすかちゃん

あすか製薬株式会社

第93期中間報告書

2012年4月1日～2012年9月30日

証券コード 4514

株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

第93期の前半（2012年4月1日から2012年9月30日まで）の事業概況をご報告するにあたり、ご挨拶申しあげます。

国内医薬品市場につきましては、本年4月に業界平均6.00%の薬価基準引き下げが実施され、一般名処方加算等後発医療用医薬品の使用促進策が推し進められるなど医療費抑制の要請は強まり、また企業間競争の激化など、引き続き厳しい状況で推移しております。当社はこのような状況に対処するため、2010年4月から2013年3月末までの中期経営計画「ASKA　PLAN 2012」を策定し、領域を絞った新製品開発に経営資源を集中し、強い競争力のある新薬開発型企業を目指しております。「先端の創薬を通じて、人々の健康と明日の医療に貢献する」ことを経営理念とし、法令遵守、倫理的な経営のもと、「社会に貢献し信頼される会社」として発展していきたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、宜しくお願い申しあげます。

2012年11月



代表取締役社長

山口　隆

目　次

株主の皆様へ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
営業の概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
財務ハイライト（連結）・・・・・・・・・・・・ 3
中間連結財務諸表・・・・・・・・・・・・・・・ 4
トピックス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
主要製品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
会社概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
株式の概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
株式に関するお知らせ・・・・・・・・・・・・・10

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、震災からの復興関連需要が堅調に推移し、企業収益が改善しつつあるもとで、設備投資等は緩やかな増加基調で推移いたしましたが、欧州債務問題等に伴う海外経済の減速等、先行き不透明な状況にあります。

医薬品業界におきましては、本年4月に業界平均6.00%の薬価基準引き下げが実施され、一般名処方加算等後発医療用医薬品の使用促進策が推し進められるなど医療費抑制の要請は強まり、また企業間競争の激化など、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと当社グループでは、当期を最終年度とする中期経営計画「ASKA PLAN 2012」の方針に基づき、医薬品事業を中心に適正な医薬情報活動を推進し、震災（放射線による風評被害を含む）により影響を受けた市場の回復に努めました結果、売上高は201億3千8百万円（前年同期比0.7%増）となりました。

医療用医薬品分野では、新製品として消化性潰瘍・胃炎治療剤「アルタット細粒」および甲状腺ホルモン剤「チラーヂンS錠」の新規格ならびに後発医療用医薬品3品目を上市し、売上高は181億8千7百万円（前年同期比0.4%増）となりました。

動物用医薬品分野では、承継した畜水産事業の統合をさらに推進し、繁殖と栄養の組み合わせにより相乗効果の発揮に努めました結果、売上高は18億2千3百万円（前年同期比4.1%増）となりました。

そのほか、検査、医療機器、食品等の売上高は1億2千7百万円（前年同期比0.5%増）となりました。

利益面では、販売費及び一般管理費の削減および下期へのずれ込み等により、営業利益6億3千7百万円（前年同期比48.1%増）、経常利益7億7千2百万円（前年同期比39.1%増）とそれぞれ増益となりました。また、福島県より震災関連の復旧整備補助金の交付を受けたことにより、特別利益として3億5千9百万円計上し、中間純利益につきましても7億4千万円（前年同期は8千4百万円の中間純利益）と増益となりました。

研究開発面におきましては、当社がアルファ・ワッサーマン社（本社：イタリア）と日本における開発販売権に関するライセンス契約を締結しておりますL-105（肝性脳症治療剤：リファキシミン）は、フェーズⅠ試験が終了し、肝性脳症の適応取得に向けフェーズⅡ・Ⅲ試験に移行いたしました。また、当社がラボラトワール・エイチアールエー・ファルマ（本社：フランス）と日本における開発販売権に関するライセンス契約を締結しておりますCDB-2914（子宮筋腫治療剤：ウリプリスタール）は、フェーズⅠ試験を実施中であります。

当中間連結会計期間における設備投資額は2億6千万円で、その主なものは、チラーヂンS錠用の生産設備などであり、全額自己資金で賄っております。

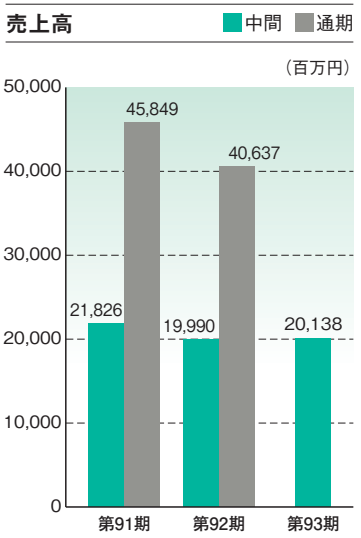
今後の医薬品業界は、引き続き厳しい環境が予測されます。

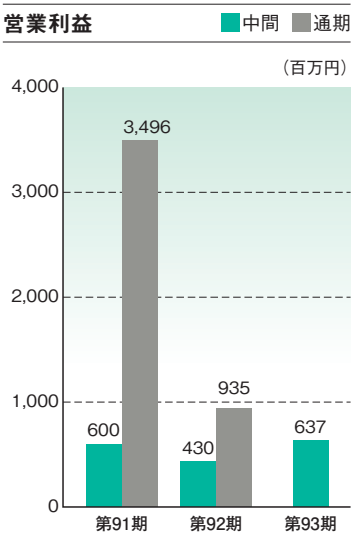
当社は企業価値の最大化を図るため、今後も改革を緩めず効率的経営に努めてまいります。

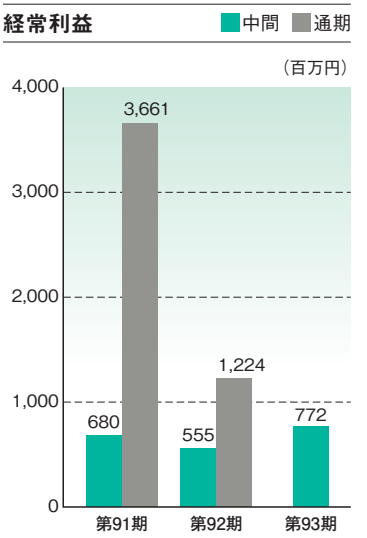
また、株主様はもとより、広くステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを図り、企業情報を積極的かつ公正に開示するようIR活動を推進してまいる所存であります。

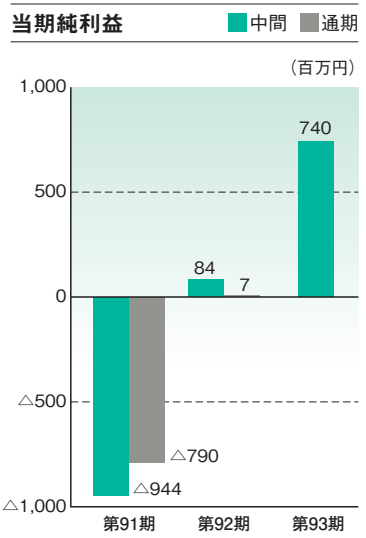
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

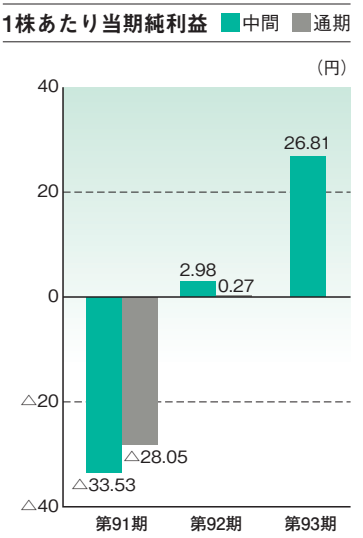
財務ハイライト（連結）

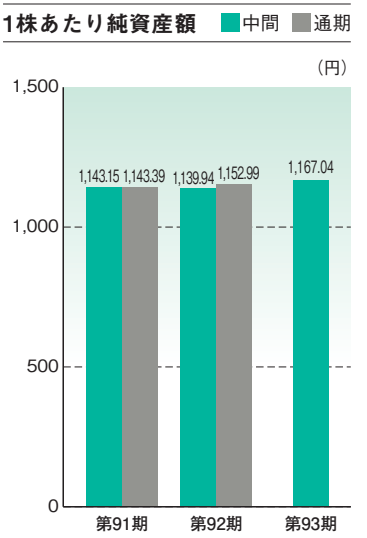












（注）当中間期末の自己資本比率は64.4%です。

中間連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	前年度末 2012年3月31日現在	当中間期末 2012年9月30日現在
資産の部		
流動資産	**24,210**	**25,837**
現金及び預金	3,873	4,578
受取手形及び売掛金	8,629	8,174
有価証券	195	1,394
その他	11,512	11,689
固定資産	**25,067**	**24,258**
有形固定資産	**12,571**	**12,110**
無形固定資産	**2,138**	**1,780**
投資その他の資産	**10,357**	**10,367**
投資有価証券	5,014	4,853
その他	5,342	5,513
繰延資産	**47**	**40**
資産合計	**49,326**	**50,136**
負債の部		
流動負債	**9,129**	**9,458**
固定負債	**8,378**	**8,382**
負債合計	**17,507**	**17,840**
純資産の部		
株主資本	**31,720**	**32,305**
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	845	845
利益剰余金	32,273	32,820
自己株式	△ 2,595	△ 2,558
その他の包括利益累計額	**88**	**△ 21**
その他有価証券評価差額金	88	△ 21
少数株主持分	**9**	**11**
純資産合計	**31,818**	**32,295**
負債純資産合計	**49,326**	**50,136**

中間連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	前中間期 2011年4月 1日から 2011年9月30日まで	当中間期 2012年4月 1日から 2012年9月30日まで
売上高	**19,990**	**20,138**
売上原価	11,026	11,326
売上総利益	**8,964**	**8,811**
返品調整引当金繰入額	△ 1	2
差引売上総利益	**8,966**	**8,809**
販売費及び一般管理費	8,535	8,171
営業利益	**430**	**637**
営業外収益	209	182
営業外費用	85	47
経常利益	**555**	**772**
特別利益	–	359
特別損失	113	–
税金等調整前中間純利益	**441**	**1,132**
法人税等	357	389
少数株主損益調整前中間純利益	**84**	**742**
少数株主利益	–	2
中間純利益	**84**	**740**

中間連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	前中間期 2011年4月 1日から 2011年9月30日まで	当中間期 2012年4月 1日から 2012年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	**△ 202**	**2,878**
投資活動によるキャッシュ・フロー	**△ 406**	**△ 790**
財務活動によるキャッシュ・フロー	**△ 4,407**	**△ 184**
現金及び現金同等物に係る換算差額	**△ 0**	**0**
現金及び現金同等物の増減額	**△ 5,017**	**1,904**
現金及び現金同等物の期首残高	**11,090**	**4,068**
現金及び現金同等物の中間期末残高	**6,073**	**5,973**

◆ 新製品発売～新しくラインナップに加わりました～



消化性潰瘍・胃炎治療剤
アルタット細粒20%



血圧降下剤
ロサルタンカリウム錠25mg・50mg・100mg「AA」



催眠鎮静剤
ゾルピデム酒石酸塩錠5mg・10mg「AA」



精神神経用剤
パロキセチン錠5mg・10mg・20mg「AA」

◆ 痛風・高尿酸血症治療剤「フェブリク錠」のコ・プロモーション開始

当社は、帝人ファーマ株式会社の痛風・高尿酸血症治療剤「フェブリク錠」（一般名：フェブキソスタット）の泌尿器科領域におけるコ・プロモーションを、2012年7月17日より開始いたしました。

フェブリク錠は、尿酸降下剤として40年ぶりに新薬として承認された日本発の尿酸生成を阻害する「尿酸生成抑制薬」です。高尿酸血症は、尿酸塩の沈着に基づく諸症状（痛風関節痛や痛風結節）の原因として知られており、痛風および高尿酸血症は日本では約1,600万人の患者がいると考えられています。

近年では生活習慣病の一つとして、高血圧、脂質異常症、動脈硬化との関連性を指摘する報告も増えており、注目を集めています。今回は、約1,500の泌尿器科施設に対して情報活動を行いますが、当社のプレゼンス向上の機会と捉え、取り組んでまいります。

◆ 緊急避妊法適正使用セミナー開催

2011年5月に発売した緊急避妊剤「ノルレボ錠0.75mg」の適正使用情報の普及を目的に、昨年に引き続き、本年も「緊急避妊法適正使用セミナー」を全国6ヶ所で開催いたしました。



本年度は、緊急避妊剤発売から1年が経過した現在の状況、緊急避妊剤から低用量ピルなどの継続的な避妊法につなげるための服薬指導をテーマとしました。また、承認薬を使用する重要性など、緊急避妊剤処方の際の法的な考え方に焦点を当てた講演も企画し、昨年同様、多くの医師およびコメディカルの方々にご参加いただきました。

引き続き、日頃の情報提供活動や啓発セミナーの実施などを通じて、ノルレボ錠の適正使用情報の提供および低用量ピル使用推進活動に努めてまいります。さらに、一般女性に対する啓発活動も行い、女性のQOLのサポートに努めてまいります。

◆ いわき工場・品質管理棟の地鎮祭を執行

2012年8月8日、いわき工場敷地内に新たに建設する品質管理棟の地鎮祭が、同工場敷地内で執り行われ、工事の安全を祈願しました。

この新品質管理棟は、①品質管理機能を集約し、品質管理業務の効率化を図る、②抗癌剤等ケミカルハザード物質および無菌試験に対応する、③今後の増産体制に十分対応できるスペースを確保する、を設計コンセプトとしています。

本棟は、鉄骨造の地上2階建て、延床面積は約1,500㎡となっており、2013年4月に竣工、稼働開始予定です。



完成予想図

◆「ASKA人事制度2012」スタート

2012年4月1日より、新たな人事制度「ASKA人事制度2012」を導入いたしました。次世代を担う従業員が夢と希望を持てる、優秀な人材の集まる会社の風土と文化をつくり上げるための人事制度としてスタートしています。

＜ASKA人事制度2012の改訂ポイント＞

・職務等級制度：職務等級数を整理しシンプル化しました。また、一般職の人材育成、活性化を目的に「リーダー」「チーフ」職を新設しました。

・報酬制度：成果主義をより徹底し、メリハリある報酬制度としました。

・評価制度：従来の業績評価に加え、行動評価を新たに導入しました。

・諸制度との連携：各種選抜研修の充実、「人事制度相談窓口」の設置を行いました。今後も各種諸制度と連携を強化し、働きやすさの向上に努めます。

◆ コンプライアンス・プログラム改訂



当社は「先端の創薬を通じて、人々の健康と明日の医療に貢献する」との経営理念のもと、「社会から信頼される会社」として成長、発展していきたいと考えており、これを達成するためにコンプライアンス（法令（企業倫理）遵守）がいかに重要であるかを強く認識しております。

当社では、役員・従業員のコンプライアンスに関する行動規準として「コンプライアンス・プログラム」を策定し、教育研修を通じて理解の深耕に努めております。2002年の策定以来、改訂を重ねてまいりましたが、近年の法改正およびコンプライアンスを取り巻く社会情勢の変化に対応すべくその内容を見直し、2012年8月に「あすか製薬コンプライアンス・プログラム2012」を策定いたしました。

また、コンプライアンスを基本として、事業活動のあらゆる場面で様々なステークホルダーと良好な関係を構築することが企業継続のために必須であるという考え方であるCSRに基づいた事業活動をより一層推進するため、「あすか製薬企業行動憲章」を改定いたしました。

当社は、これからも経営理念に基づき「あすか製薬企業行動憲章」および「コンプライアンス・プログラム」を遵守し、生命関連企業としての社会的責任を果たしてまいります。

◆「環境・社会報告書2012」発行



2012年10月、「環境・社会報告書2012」を発行いたしました。本報告書は、2009年から毎年発行し、本号で4号目となります。

今号では、事業活動を通じた社会の課題解決、環境保全の取り組みやステークホルダーとの共生などについて、フリーアナウンサーの町亞聖さんと当社山口社長の対談を掲載しています。また、「製品」「信頼」「人」の3つの力が、事業活動にどのような効果を発揮し、CSRとどう係わっているのかを紹介しています。

生命関連企業である当社の事業は、CSR活動に直結していると考えています。事業活動だけでなくより一層のCSR活動を推進するために今後も活動のレベルアップを図り、さらに充実した報告書を継続発行していきます。

なお、本報告書は、当社ホームページ（http://www.aska-pharma.co.jp/company/environment.html）からご覧いただけます。

主要製品

●医療用医薬品



高脂血症治療剤
リピディル錠53.3mg・80mg



甲状腺ホルモン剤
チラーヂンS錠12.5μg・25μg・50μg・75μg・100μg



前立腺肥大症・癌治療剤
プロスタール錠25
徐放性前立腺肥大症治療剤
プロスタールL錠50mg



消化性潰瘍・胃炎治療剤
アルタットカプセル37.5mg・75mg、アルタット細粒20%



緊急避妊剤
ノルレボ錠0.75mg



経口避妊剤
アンジュ21錠・28錠



更年期障害治療剤
メノエイドコンビパッチ



前立腺癌治療剤
ビカルタミド錠80mg「あすか」



高血圧症・狭心症治療薬 持続性Ca拮抗薬
アムロジピンOD錠2.5mg、5mg「あすか」

●動物用医薬品および飼料添加物



注射用血清性性腺刺激ホルモン
動物用セロトロピン



犬・猫用健康補助食品
グリーンマッスルGL「あすか」〈犬・猫用〉



豚・鶏呼吸器疾患治療剤
アイブロシンプラス-10・50



飼料添加物
L-バリン・L-アルギニン

会社概要（2012年9月30日 現在）

会社の概要

社名	あすか製薬株式会社
設立	1929年6月28日 （創立1920年6月16日）
資本金	11億9,790万円
主な事業内容	医薬品、動物用医薬品、医薬部外品、食品および医療機器等の製造・販売ならびに輸出入
主な事業所	
本社	東京都港区芝浦二丁目5番1号
事業所	川崎事業所（神奈川県川崎市） 西東京事業所（東京都羽村市）
工場	いわき工場（福島県いわき市）
支店	札幌支店、東北支店、東京支店、千葉・埼玉支店、横浜支店、北関東支店、甲信越支店、名古屋支店、京都支店、大阪支店、中国・四国支店、福岡支店
従業員数	863名 （子会社への出向者26名は含めておりません）

子会社

会社名	資本金	当社の議決権比率	主要な事業内容
	百万円	%	
㈱あすか製薬メディカル	200	100	臨床検査・試験業務・医療機器販売業務等の受託 医薬品原材料等の販売 食品等の販売
あすかActavis製薬㈱	345	55	医薬品の開発、販売

役員

役員	代表取締役社長	山口　隆
	代表取締役専務取締役	山口　雅夫
	専務取締役	金澤　一
	常務取締役	大竹　充
	常務取締役 （医薬営業本部長）	内藤　朗
	取締役常務執行役員 （川崎事業所・西東京事業所担当・研究開発本部長）	堀内　敏
	取締役常務執行役員 （総務・人事・広報・渉外・震災復興担当）	横山義廣
	取締役常務執行役員 （経理・情報システム・生産担当）	丸尾篤嗣
	取締役 （社外取締役）	上田栄治
	取締役 （社外取締役）	吉村泰典
	常勤監査役	鈴木肇
	常勤監査役	小泉直之
	監査役 （社外監査役）	武田裕二
	監査役 （社外監査役）	杉尾健
執行役員	常務執行役員 （生産本部長）	角張信隆
	執行役員 （アニマルヘルス事業本部長）	應矢誠司
	執行役員 （医薬営業本部副本部長兼特命事項担当）	秋山明
	執行役員 （医薬事業本部長）	村上誠
	執行役員 （信頼性保証担当）	川原真幸
	執行役員 （研究開発本部副本部長兼開発研究センター長兼川崎事業所長）	蓮見幸市
	執行役員 （医薬営業本部副本部長）	松葉昌行
	執行役員 （特命事項担当）	齋藤守信

株式の概況（2012年9月30日 現在）

株式の状況

■発行済株式の総数　30,563,199株

■株　　主　　数　4,017名

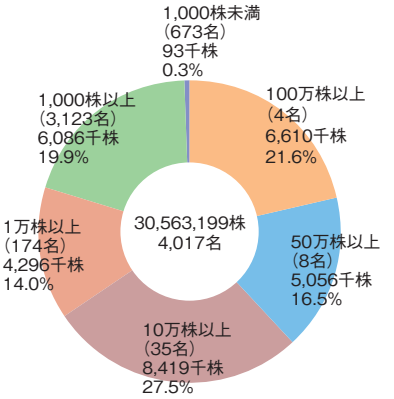
大株主の状況（上位10位）

株主名	所有株数(千株)	持株比率(%)
武田薬品工業株式会社	2,204	7.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,204	4.2
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,100	3.8
山口　隆	914	3.2
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	866	3.0
あすか製薬従業員持株会	666	2.3
日本生命保険相互会社	579	2.0
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	530	1.8
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (従業員持株ESOP信託口・75502口)	500	1.7
トーア再保険株式会社	500	1.7
ビービーエイチ　ボストン　ハートランド バリュー　ファンド　620018	500	1.7

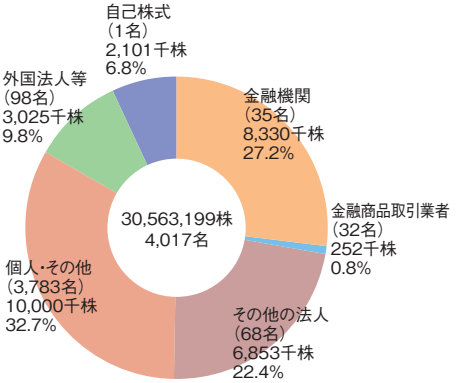
(注) 1. 当社は、自己株式を2,101,217株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式の分布

■所有株数別



■所有者別



◆ 配当金を配当金領収証でお受取りの株主様へ

より安全で、迅速な配当金のお受取り方法として、次のいずれかをおすすめいたします。
詳細は、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

配当金を銀行口座で受取りたい

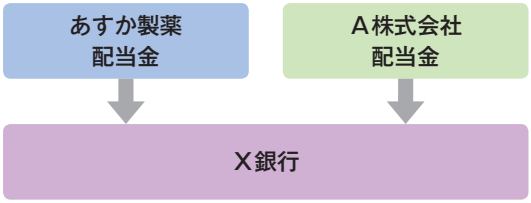
登録配当金受領口座方式 または **個別銘柄指定方式**

登録配当金受領口座方式

ご所有の全ての銘柄の配当金を1つの銀行（※）口座でお受取りいただけますので、配当金をまとめて管理したい株主様に便利です。

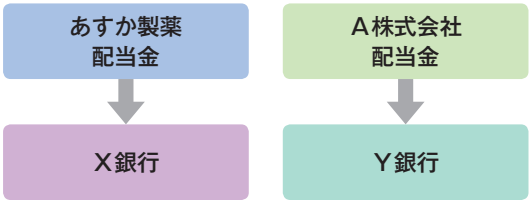
お取引の証券会社のうち1社にお申し出いただくことで、全ての銘柄の配当金を、同一銀行口座でお受取りいただけます。

※ゆうちょ銀行は、指定できません。
※一部の銘柄だけ別の銀行口座や別の方式を指定することはできません。



個別銘柄指定方式

株式をご所有の銘柄ごとに銀行口座（※）を指定して、配当金をお受取りいただけます。



※ゆうちょ銀行も指定できます。

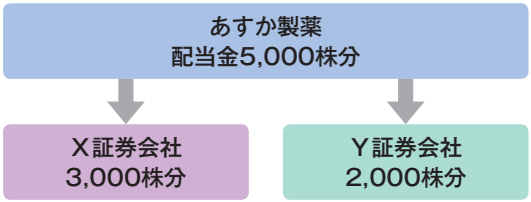
配当金を証券会社の口座で受取りたい

株式数比例配分方式

配当金を証券会社の口座で管理したい株主様に便利です。複数の証券会社であすか製薬株式をご所有の場合でも、証券会社ごとのご所有株式数に応じて、配当金をそれぞれの証券会社の口座で按分してお受取りいただけます。

お取引の証券会社のうち1社にお申し出いただくことで、株主様のご所有の全ての銘柄についてお手続きできます。

※ご所有の株式の一部が特別口座で管理されている場合などは、選択できません。
※ご所有の株式の一部が、株式数比例配分方式の配当金受取方法を採用していない証券会社にご預託の場合は選択できません。詳しくはお取引の証券会社にお問い合わせください。



〔お手続き・お問い合わせは…〕

配当金の口座お受取りに関するご相談は、お取引の証券会社等にお申し出ください。

●株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL　http://www.aska-pharma.co.jp/invest/index.html （ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。）

株主の皆様の声をお聞かせください

下記ＵＲＬにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、
アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、
アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

http://www.e-kabunushi.com
アクセスコード 4514
いいかぶ　検索

空メールによりURL自動返信
kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。（タイトル、本文は無記入）アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

携帯電話からもアクセスできます
ＱＲコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のＱＲコードからもアクセスできます。

e-株主リサーチ

※本アンケートは、株式会社 a2media（エー・ツー・メディア）の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
（株式会社 a2mediaについての詳細　http://www.a2media.co.jp）
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」
TEL:03-5777-3900（平日 10:00～17:30）
MAIL:info@e-kabunushi.com

●株式に関するお手続きについて

お手続き、ご照会等の内容	証券会社等に口座をお持ちの場合	特別口座*の場合
・単元未満株式の買増・買取請求 ・届出住所・姓名などのご変更 ・配当金の受領方法・振込先のご変更	お取引の証券会社等にお問い合わせください。	三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。
・郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ ・特別口座に関するお問い合わせ	三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部 〒137-8081　東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL.0120（232）711（通話料無料） http://www.tr.mufg.jp/daikou/	

特別口座*　株券電子化前に証券保管振替機構（ほふり）に預託していなかった株券の株主様の権利を保全するために、三菱UFJ信託銀行に開設した口座です。

あすか製薬株式会社
本　社　〒108-8532　東京都港区芝浦二丁目5番1号
TEL.03（5484）8361㈹　FAX.03（5484）8351
http://www.aska-pharma.co.jp/

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080
VEGETABLE OIL INK